

## 第2期「第3回桐生・みどり未来創生会議」開催結果概要

- 1 日 時 令和4年6月29日（水）午後6時00分から7時15分まで
- 2 場 所 桐生商工会議所 6階 ケービックホール
- 3 出席者 委員 桐生市：荒木市長及び市民委員 8人（2人欠席）  
みどり市：須藤市長及び市民委員 8人（2人欠席）  
事務局職員 桐生市：5人 みどり市：5人
- 4 報道機関 3社（計4人）
- 5 傍聴者 15人
- 6 経過報告 第2期「第2回桐生・みどり未来創生会議」の開催結果概要を事務局より報告
- 7 協議内容

議題である「公共施設のあり方」に関して、「共同事業施設」と「共同事業施設以外の施設」に分けて協議を行った。「共同事業施設」については、事務局から施設の概要や、4月に実施した共同事業施設見学会のアンケート調査結果の説明を行った。

### （1）市民委員からの意見・提案等

#### ○「共同事業施設」について

- ・越谷市や栃木市の斎場では、PFIという民間資金を活用した手法で建設している。事業手法について、今後研究していくべきである。
- ・どの施設も生活していく上でなくてはならない、ストップできない施設である。大きな施設であることを考えると、時間もかかり、待たなしの状況である。改修には時間がかかるため、両市でしっかり協議を行い、時代に即した形で迅速に事務を進めてもらいたい。
- ・職員が、厳しい環境の中、周辺の住民の方々に協力いただくために、コミュニケーションを取るなど苦労も重ねている話を聞き、頭が下がる思いだった。
- ・どこにどのような施設を建設するのかなどの課題も多いため、早急に両市で協議を行ってもらい、市民の視点と民間のノウハウを入れながら、この地域に生活し続けることができるように今から取り組む必要がある。
- ・共同事業施設における両市の負担割合や運営・建設方法は、当時の周辺市町村の合併が念頭にあり現在の方法になったと思う。今後の施設更新では、両市長の考え方によって、運営・建設方法に関して市民の目から見ると変わってくるのではないかと考える。など

○「共同事業施設以外の施設」について

- ・これから再構築する施設については、両市で適正な配置や、同じような施設の建設を避けるなど、無駄のないように協力し合ってもらいたい。 など

(2) 両市長の考え

○「共同事業施設」における「共同事業実施に関する覚書」については、締結した平成17年当時に比べ、人口規模なども変わってきている。この覚書については、これから両市で協議する中で、より良い方向に向かっていければ良いと考えている。

○共同事業施設については、「共同事業実施に関する覚書」に基づき、桐生市とみどり市で検討しながら進めてまいりたい。

(3) 協議結果

○「共同事業施設」については、両市で締結している「共同事業実施に関する覚書」に基づき、早急に両市で協議を開始することについて、了承された。

- 8 その他 次回の会議は、「広域観光」についての協議を実施する予定。  
次回の会議は、概ね2～3か月後の開催を予定。

以 上